

## 「多文化共生」を考える研修会2012 開催結果

### 1 趣旨

日頃から外国人県民と接する機会の多い県・市町職員、教員、福祉事務所などのケースワーカー、日本語ボランティアなどを対象に、外国人県民の現状や様々な課題について、共に学び、理解を深めるための研修会を開催することにより、すべての人々が安全で安心して生活できる多文化共生社会の実現を推進する。

### 2 主催

(公財)兵庫県国際交流協会、兵庫県、兵庫県教育委員会、特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター、神戸市

### 3 内容

テーマ	時間	内容	講師等
8月20日（月）国際健康開発センター 交流ホール			
グローバル化とマイノリティ	13:30～13:35	主催者あいさつ	(公財)兵庫県国際交流協会 理事長 齋藤 富雄 (特非)神戸定住外国人支援センター 理事長 金 宣吉
	13:35～15:05	隣人としての外国人～ドイツの事例と日本の事例から	リングホーファ・マンフレッド(大阪産業大学人間環境学部教授)
	15:15～16:45	多文化共生施策が見落としてきたもの～経済不況下におけるブラジル人～	山本 かほり(愛知県立大学文学部社会福祉学科准教授)
8月22日（水）国際健康開発センター 交流ホール			
外国人の子どもの教育	13:30～15:00	学校教育における多文化状況のとりえ方	児島 明(鳥取大学地域学部准教授)
	15:15～16:45	外国人の子どもたちの進学問題～貧困の連鎖を断ち切るために	鍛冶 致(大阪成蹊大学マネジメント学部准教授)
8月24日（金）海外移住と文化の交流センター ホール			
外国人多住地域の状況と取り組み	13:30～15:00	浜松国際交流協会の取り組み～浜松外国人総合支援ワンストップセンターなど	松岡 真理恵(公益財団法人浜松国際交流協会多文化共生コーディネーター)
	15:15～16:45	移住女性の状況～フィリピン人の事例から	ローズ マリー(ふれあい館 相談員)
8月27日（月）国際健康開発センター 交流ホール			
多文化共生に向けての課題	13:30～15:00	入管法改正による外国人の抱える課題とその対策	高島 ふさ子(神戸公務員ボランティア 会員)
	15:15～16:45	あんぽん～孫正義 在日3世として	佐野 真一(ノンフィクションライター)